



PRESS RELEASE (2011/04/21)

アジアの生態系・生物多様性の研究教育を先導 —九州大学アジア保全生態学センター設立記念シンポジウムを開催—

概要

九州大学では5月1日に「アジア保全生態学センター」を設立します。この設立を記念して、シンポジウムを5月2日に開催します。「アジア保全生態学センター」では、グローバル COE プログラム「自然共生社会を拓くアジア保全生態学」の教育研究を推進するとともに、アジア規模での生物多様性観測計画（AP-BON、環境省戦略研究）を推進し、地球規模での国際事業（GEO BON）の一翼をにいます。

■日程

平成23年5月2日（月）

会場：九州大学医学部百年講堂 大ホール

「九州大学アジア保全生態学センター設立記念シンポジウム」プログラム

- 13:00-13:10 挨拶 有川節夫 九州大学総長
- 13:10-13:20 祝辞 樋口 聰 文部科学省 高等教育局大学振興課大学改革推進室長
- 13:20-13:45 矢原徹一：アジア保全生態学センターの紹介
- 13:45-14:00 記念講演：渡辺綱男（環境省自然保護局長）
- 14:00-14:15 記念講演：立本成文（総合地球環境学研究所長）
- 14:15-14:30 記念講演：松田裕之（横浜国大教授・GCOE プログラム「アジア視点の国際生態リスクマネジメント」リーダー）
- 14:30-15:00 休憩

アジア保全生態学センター若手スタッフと連携研究者による研究紹介

- 15:00-15:15 鹿野雄一：中国太湖流域・チャオシー川における保全生態学プロジェクト
- 15:15-15:30 遠山弘法：カンボジア熱帯林における保全生態学プロジェクト
- 15:30-15:45 イベラヒム・ドジャマルディン：インドネシアにおける GIS 情報の保全生態学への活用
- 15:45-16:00 辻野亮：総合地球環境研究所プロジェクト「日本列島における人間－自然相互関係の歴史的・文化的検討」の成果
- 16:00-16:15 吉田丈人・西廣淳・鷺谷いづみ（東京大学）：福井県三方湖の自然再生を支援する総合環境研究
- 16:20-17:30 パネルディスカッション：アジア保全生態学の課題

記念講演者・若手講演者・事業推進担当者（九大・東大）による討論

18:00-19:30 レセプション（会費制：一般 3,000 円、学生 2,000 円）

■今後の展開

環境省環境研究総合推進費戦略研究開発プロジェクト「アジア規模での生物多様性観測・評価・予測に関する総合的研究」（研究期間：2011～2015 の5年間）が7月からスタートします。九州大学アジア保全生態学センターは、このプロジェクトをになう中核研究機関として、国内およびアジア諸国での研究に取り組みます。

【お問い合わせ】

理学研究院教授 巖佐 庸
電話：092-642-2639
FAX：092-642-2645
Mail：yohiwasa@kyushu-u.org